学校番号	３０１３

令和８年度　国語科

教科	国語科	科目	(学)国語実践	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	「文章トレーニングノート」　（第一学習社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・これから社会に出る３年生は、社会人として必要とされる、伝える力（コミュニケーション能力）を身につけることを心がけましょう。
・話し合いや文章記述、発表など、表現する活動を取り入れた授業を行います。
・コミュニケーションのための「話す・聞く能力」や意思を伝えるための「書く能力」をしっかりと身につけてください。また、活動を円滑にし、内容を深めるためのスキルも磨きましょう。
・自分の考えを正しく伝えるためにも、語彙力や文法の知識をしっかりと身につけてください。

2　学習の到達目標

（１）実社会に必要な、実用的な国語の知識や技能を身につけるようにする。
（２）他者との多様な関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
（３）言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通じて積極的に他者と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉のもつ価値への認識を深めようとしているとともに、言語感覚を磨き、言葉を効果的に使おうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	原稿用紙の使い方や、正しく適切な表記、係り受けについて理解し、正確で整った文を書く。 また、あいまいな文や長くてわかりにくい文を避け、接続表現を使い分けながら、論理的で分かりやすい文を書く。 ［教材］ レッスン1～5 確認テスト1～2 チャレンジ1～2	a：書き言葉の特徴や役割、表現の特色をふまえ、正確さ、わかりやすさ、適切さなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解して使っている。 a：文の適切かつ効果的な接続のしかたを理解している。 b[書]：自分の考えやことがらが的確に伝わるように、文章の種類や語句などの表現を工夫している。 c：正しく適切で分かりやすい文を書くことを意識し、意欲的に取り組もうとしている。	ﾄﾚｰﾆﾝｸﾞﾉｰﾄ 小テスト	ﾄﾚｰﾆﾝｸﾞﾉｰﾄ	ﾄﾚｰﾆﾝｸﾞﾉｰﾄ
	大切なことを落とさずに、正確に書く。自分にとって必要な情報を意識し、メモをとりながら聞く。 ［教材］(独自教材) 聞き取り練習「伝言ゲーム」	a：話し言葉の特徴や表現の特色をふまえ、正確に聞き取っている。 b[話・聞]：必要な情報を意識しながら聞き、情報を適切に整理している。 c：「聞くこと」の大切さを理解し、聞き取りの学習活動に積極的に取り組もうとしている。	ワークシート 小テスト	ワークシート 発表の観察	ワークシート 発表の観察
	お互いの間に新しいつながりを発見したり、お互いのものの見方・考え方を広げたりする。 また、相手と円滑なコミュニケーションを取るために適切な言葉遣いや表現方法について考察する。 ［教材］(独自教材) ペア対話「他己紹介」	a：相手や場面に配慮した言葉遣いや表現のしかたを理解し、使っている。 b：[話・聞]相手や場面に配慮し、他己紹介にふさわしい事柄を情報収集し、話の内容や表現のしかたを工夫している。 c：対話の力やコミュニケーション力を高めることに関心をもち、意欲的に学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート	ワークシート 発表の観察 相互評価	ワークシート 発表の観察 相互評価
二学期	出題の目的や読み手を意識して、適切な主張（主題）を設定し、意見文を書く。また、場面や目的に応じた類義語の使い方を理解し、使い分ける。 ［教材］ レッスン6～7 確認テスト3～4 チャレンジ1～4	a：文や文章の効果的な組み立て方や接続のしかたについて理解している。 a：場面や目的に応じた適切な言葉、類義語のニュアンスについて正しく理解している。 b[書]出題の目的や読み手を意識して、適切な主張（主題）を設定している。 c：正しく適切で、分かりやすい文を書くことを意識し、意欲的に取り組もうとしている。	ﾄﾚｰﾆﾝｸﾞﾉｰﾄ 小テスト	ﾄﾚｰﾆﾝｸﾞﾉｰﾄ	ﾄﾚｰﾆﾝｸﾞﾉｰﾄ
	相手に伝えたいことを、わかりやすく整理して話す。 また、話し合いの場を客観的に見る練習を通して、それぞれの立場や考えを尊重して話す・聞く力をのばす。 ［教材］(独自教材) 3人対話「最近のニュース」	a：情報の妥当性や信頼性の吟味のしかたについて理解を深めている。 b[話・聞]：自分の考えが的確に伝わるように、話の構成や展開を工夫している。 b[話・聞]：撮り手として話し手・聞き手の両方の様子から、話し合いの参加者それぞれの立場や考えを考察している。 c：対話の力やコミュニケーション力を高めることに関心をもち、意欲的に学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート	ワークシート 発表の観察 相互評価	ワークシート 発表の観察 相互評価

二学期	1学期で学んだ原稿用紙の使い方や、文章表現のルールに注意しながら、ライフチャートをもとに、効果的な自己PR文を書く。 ［教材］ チャレンジ5～6	a:適切な情報の取捨選択の方法や吟味のしかたについて理解を深めている。 b:[書]自己分析をもとに、効果的に自分の考えや意見をまとめ、表現のしかたを工夫している。 c:積極的に自己分析に取り組み、意欲的に表現活動に取り組もうとしている。	ﾄﾚｰﾆﾝｸﾞﾉｰﾄ 小テスト	ﾄﾚｰﾆﾝｸﾞﾉｰﾄ	ﾄﾚｰﾆﾝｸﾞﾉｰﾄ
	面接の学習を通して、自己を知り、場面に合わせ、相手に配慮しながら、自分の意見を述べる方法を身につける。 ［教材］(独自教材) 模擬面接	a:場面や目的に応じた適切な言葉、敬語の使い方、表現のしかたを理解し、使っている。情報の妥当性や信頼性の吟味のしかたについて理解を深めている。 b:[話・聞]場に応じた言葉遣いに留意して、伝わる話し方について理解し、面接における心構えと技術を身につけている。 c:効果的に話し、的確に聞き取って伝えようとしている。	ワークシート	ワークシート 発表の観察 相互評価	ワークシート 発表の観察 相互評価
三学期	映像作品の表現方法を理解する。また、作者の問題意識と主張を読み取り、それをふまえて、自分の考えを広げる。 ［教材］(独自教材) NHK for school	a:脚本やカメラワークなど、映像作品ならではの表現方法について理解している。 b[読]:作者の主張とその根拠となる表現や描写をとらえる。また、内容について自分の考えを深めている。 c:進んで映像表現の方法を理解するとともに、自分の考えをもち、意欲的に伝えようとしている。	ワークシート 小テスト	ワークシート	ワークシート

4　学習の活動

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　１５　）時間

・書くこと　…　（　２５　）時間

・読むこと　…　（　５　）時間